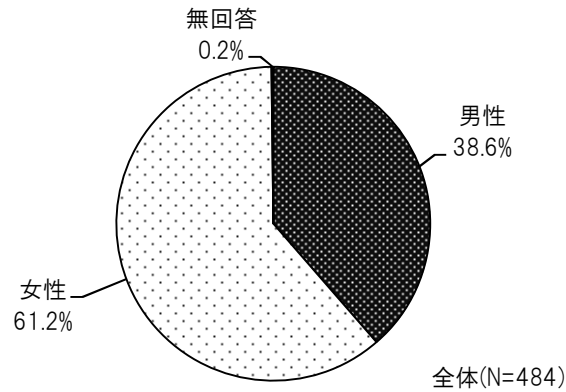


2 回答者の属性

1. 性別構成比（問1）

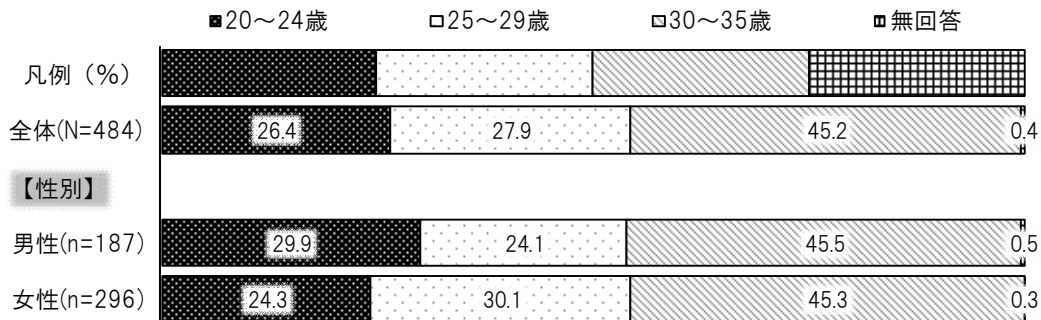
対象者の性別構成比は、男性が 38.6%、女性が 61.2%と、ほぼ 4 : 6 に近い構成となっている。



2. 年齢別構成比（問2）

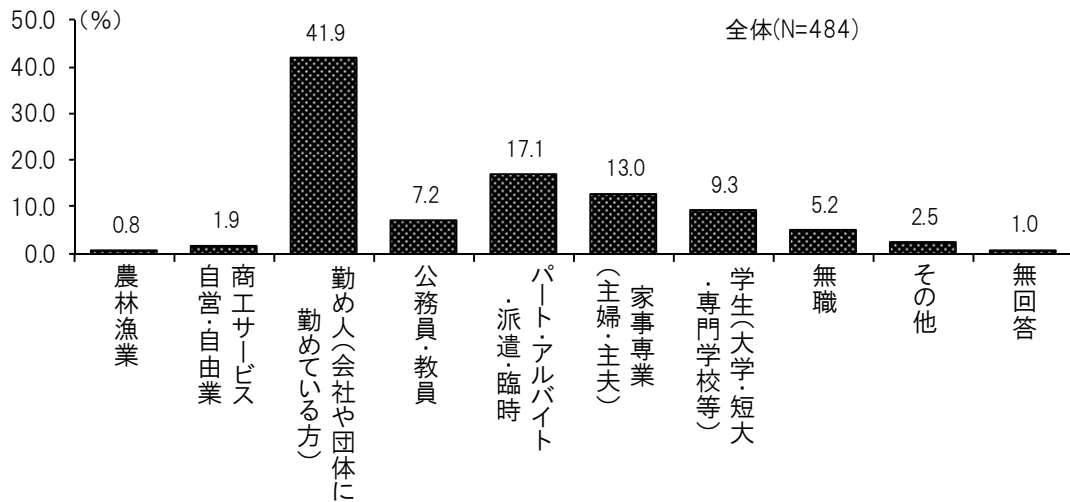
対象者の年齢別構成比は、「30～35歳」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「25～29歳」（27.9%）、「20～24歳」（26.4%）の順となっている。

性別でみると、男性は女性に比べ「20～24歳」の若い年齢層の割合が比較的高くなっている。

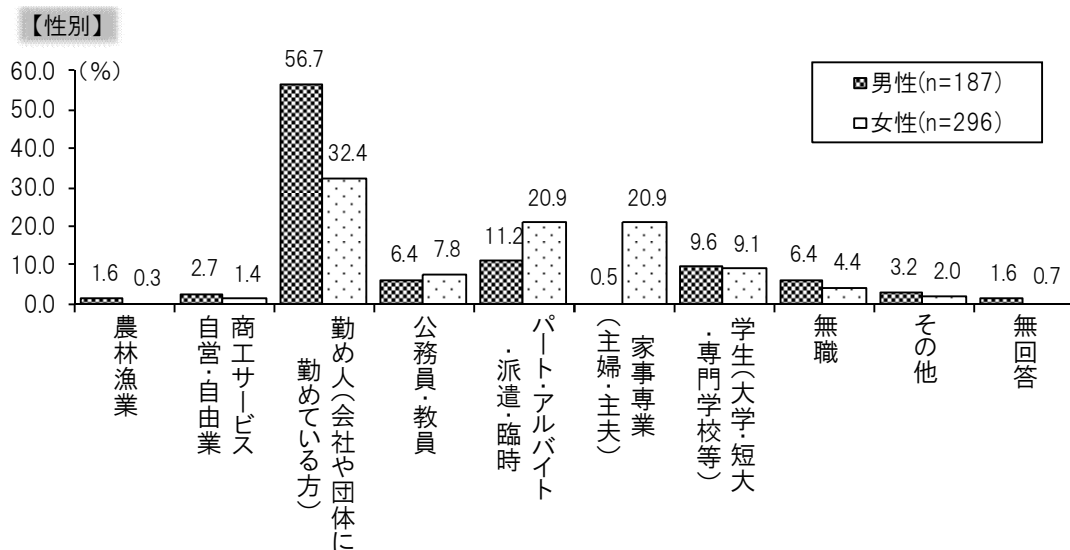


3. 職業別構成比（問4）

対象者の職業別構成比は、「勤め人（会社や団体に勤めている方）」の割合が41.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・派遣・臨時」（17.1%）、「家事専業（主婦・主夫）」（13.0%）、「学生（大学・短大・専門学校等）」（9.3%）の順となっている。



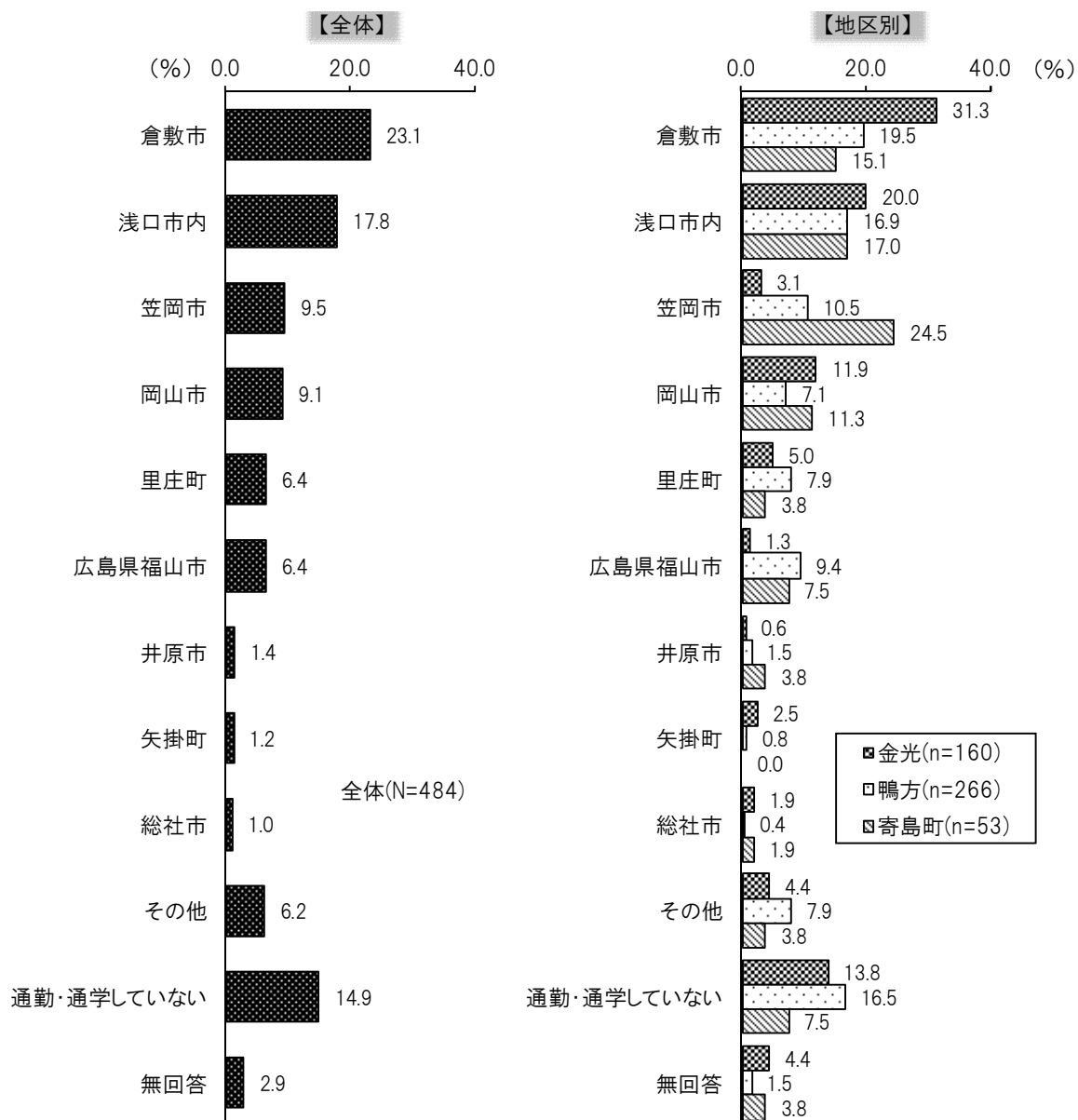
性別でみると、男性は女性に比べ「勤め人（会社や団体に勤めている方）」の割合が高く、女性は「パート・アルバイト・派遣・臨時」や「家事専業（主婦・主夫）」の割合が男性を大きく上回っており、差がみられる。



4. 通勤・通学先（問5）

対象者の通勤・通学先は、「倉敷市」の割合が23.1%と最も高く、次いで「浅口市内」（17.8%）、「笠岡市」（9.5%）、「岡山市」（9.1%）などの順となっており、「通勤・通学していない」が14.9%みられた。

地区別でみると、金光地区居住者の場合、他の地区居住者に比べ「倉敷市」への通勤・通学者が多いことが目立っている。また、寄島町居住者の場合、「笠岡市」への通勤・通学者が多くなっている。



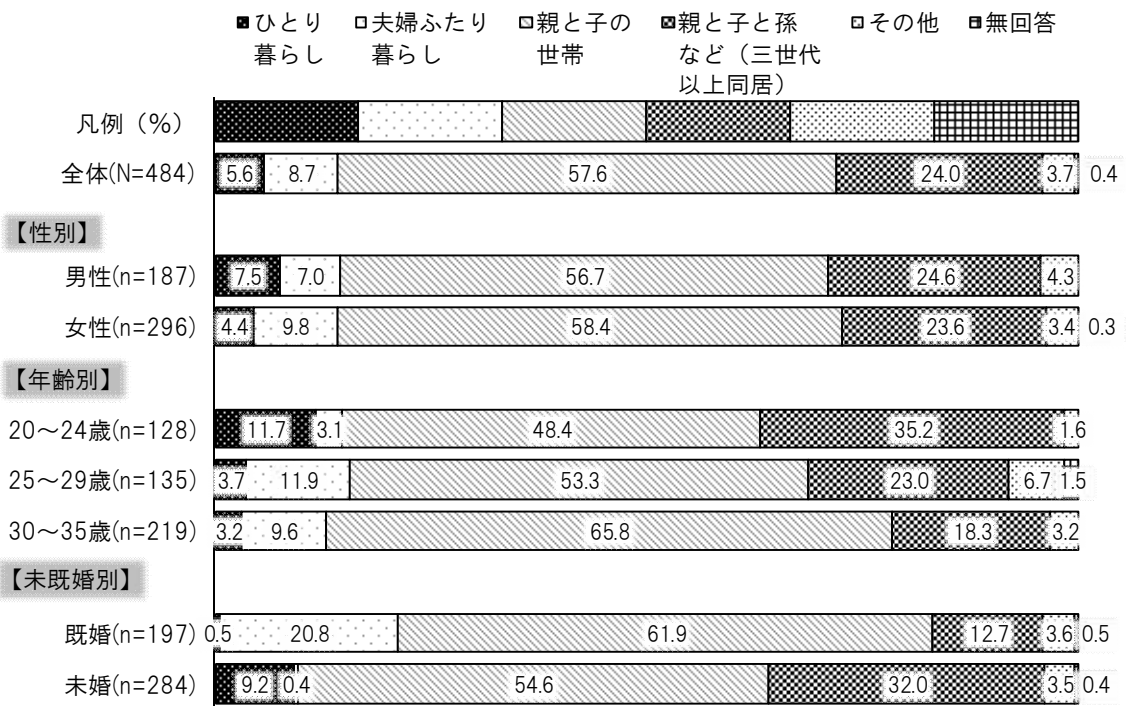
5. 同居家族の構成

(1) 同居家族構成（問6）

同居家族構成をみると、全体では「親と子の世帯」の割合が57.6%と、過半数を占め最も高く、次いで「親と子と孫など（三世代以上同居）」が24.0%で続いている。以下「夫婦ふたり暮らし」が8.7%、「ひとり暮らし」が5.6%の順となっている。

性別では大きな差は目立たないが、年齢別では、年齢が若い層では「親と子と孫など（三世代以上同居）」の割合が高いが、年齢が上がるほど「親と子の世帯」が増える傾向にある。

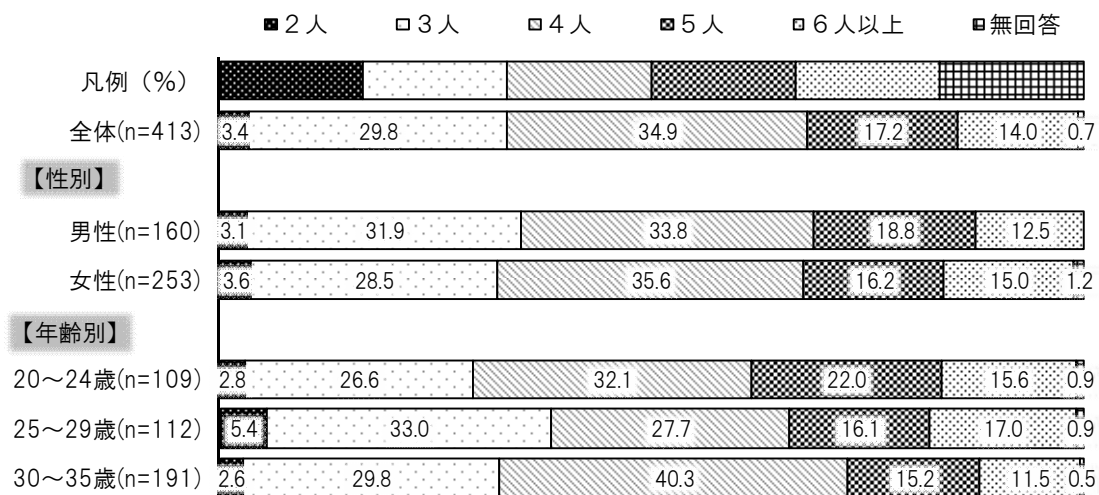
また、既婚世帯では未婚世帯に比べ「夫婦ふたり暮らし」や「親と子の世帯」の割合が高く、未婚世帯では「親と子と孫など（三世代以上同居）」の割合がそれぞれ高くなっている。



(2) 同居家族人数（問7）

ひとり暮らしと夫婦ふたり暮らしを除く世帯における、同居家族人数をみると、全体では「4人」の割合が34.9%と最も高く、以下「3人」(29.8%)、「5人」(17.2%)、「6人以上」(14.0%)の順となっている。

性別では大きな差は目立たないが、年齢別では、若い年齢層ほど「6人以上」が多い傾向にあり、30～34歳では他の年齢層に比べ「4人」が多いことが目立っている。



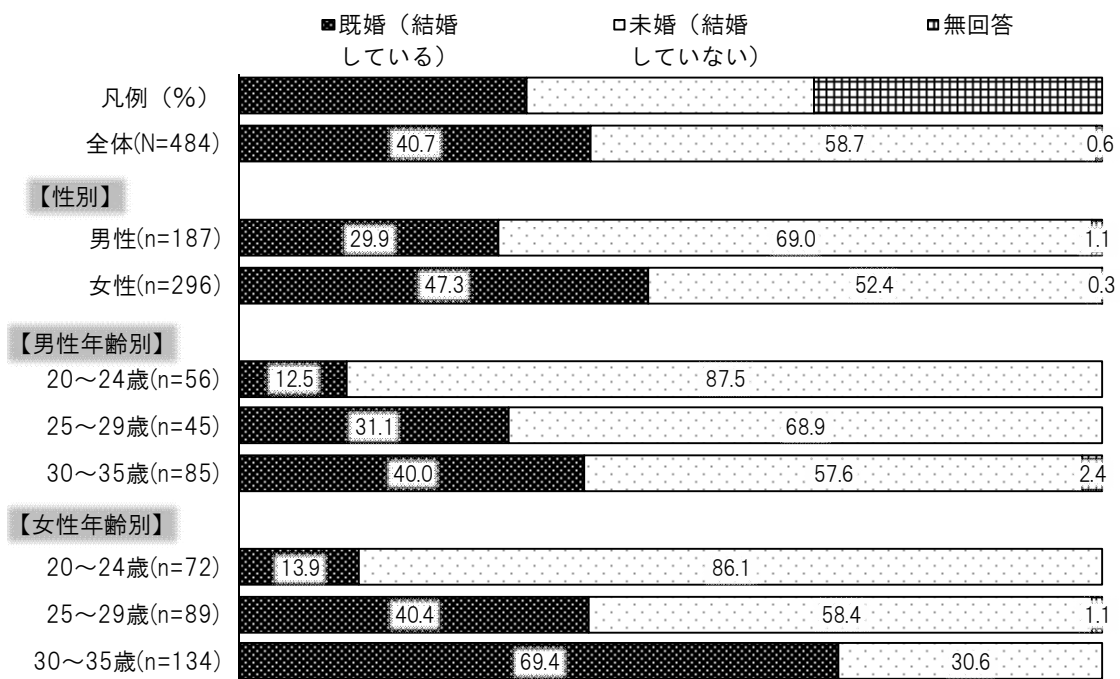
6. 未既婚の状況等

(1) 未既婚（問8）

未既婚について、全体では「既婚（結婚している）」が40.7%、「未婚（結婚していない）」が58.7%と、ほぼ4：6に近い割合となっている。

性別では、男性は女性に比べ「未婚（結婚していない）」が多く、女性は「既婚（結婚している）」が半数近くを占め、男性を上回る。

年齢別では、男女ともに年齢が上がるほど既婚者も増える傾向にある。しかし、女性30～35歳では、既婚者が約7割を占めているのに対して、男性は4割程度と、性別による差が目立っている。



(2) 共働きの状況 (問 11)

共働きの状況について、全体では「共働きである」は56.3%と過半数を占めている。
性別では、男性は女性に比べ「共働きである」割合が高く、年齢別では、特に25～29歳で6割以上を占めている。

